

牧草と園藝



飼料用エンバク品種選定のポイント

エンバクは、①早晩性の幅が広いこと。②残根が少なく後作に影響がないこと。③オオムギより耐湿性があることから、作付体系に組み入れやすい作物です。利用目的をはっきりした上で上手に品種を使いわけましょう。

| 主な利用目的 | 適応地域 | 品 種 名 | 利用のポイント |
|--------|------|-------------------|---|
| 乾 | 東北以南 | ヘ イ オ ー ツ | 細莖で高乾物率。 秋播きし、翌春に出穂始～期に調製。 窒素過剰を避けるのが多収のポイント。 |
| | 関東以西 | ヘ イ オ ー ツ | 春播き（3月下旬）し、梅雨前に乾草調製。 |
| 草 | 〃 | ハ ヤ テ | 夏播き（8月下旬）で年内に出穂させ、冬の季節風を利用すれば立毛乾草に最適。 |
| | 東北以南 | オ ー ル マ イ テ ィ | 秋播きし、翌春に多刈で利用する。 出穂前に刈取って再生を促す。 |
| 刈 | 関東以西 | 太 豊 | 耐寒性が強いので、初秋播き（9月下旬）し、年内から刈取利用が可能。 刈高を10cmとするのが多収のポイント。 |
| | 〃 | ハ ヤ テ | 夏播き（8月下旬）で出穂後利用する。 耐倒伏性が強いので密植が可能。 |
| サイレージ | 東北以南 | ハ オ ー ル ヤ マ イ テ ィ | 秋播きし、糊熟期に刈取り、予乾後調製する。 |
| | 関東以西 | ハ ヤ テ | 夏播きし、年内出穂させ、12月下旬に調製。 水分は被霜後低下するので、ダイレクト調製も可能となる。 |
| 緑肥 | 東北以南 | オ ー ル マ イ テ ィ | 春播き・秋播きに最適。収量が多く、風よけにも最適。 |
| | 関東以西 | ハ ヤ テ | 春播き・夏播きに最適。耐倒伏性にすぐれる。 |